

令和7年度  
事業報告書  
決算書



## 目 次

I - I. 令和7年度事業報告書	
1. 事業概況（令和7年度を振り返って）	3
2. 総裁	3
3. 役員構成	3
4. 会員数	3
5. 会議等	4
(1) 定時総会	4
(2) 理事会	4
6. 登記事項	4
7. 組織及び職員数	5
8. 公益法人の運営体制の充実を図るための取組	5
(1) 外部理事及び外部監査役の選任	5
(2) コンプライアンス委員会の実施等	5
9. 令和7年度における公益目的事業の実施状況	6
(1) 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈	6
(2) 発明奨励振興事業	6
ア. 全国発明表彰	6
イ. 地方発明表彰	7
ウ. 「戦後日本のイノベーション100選」特設サイトの運営	7
(3) 青少年創造性開発育成事業	7
ア. 第84回全日本学生児童発明くふう展	7
イ. 第48回未来の科学の夢絵画展	8
ウ. 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館	8
エ. 少年少女発明クラブ事業	8
オ. 第13回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	9
カ. 東京都児童生徒発明くふう展	9
キ. 青少年創造性開発育成海外交流	10
ク. 発明の日及び科学技術週間協賛事業	10
ケ. 青少年創造性開発育成委員会	10
コ. 青少年創造性開発育成事業へのご協賛	10
(4) 知的財産権制度普及等事業	11
(5) 地域機関との相互連携	11
ア. 全国発明振興会議	11
イ. 発明協会会長等懇談会	11
10. 関係省庁への協力	11
(1) 文部科学省表彰関係事業への協力	11
(2) 特許庁知財功労賞への協力	12
11. 東京発明推進協議会の活動	12
12. 公益事業の広報活動	12
I - II. 事業報告書の附属明細書	13
II. 令和7年度決算書	
貸借対照表	15
正味財産増減計算書	16
正味財産増減計算書内訳表	17
財務諸表に対する注記	18
附属明細書	19
財産目録	20
収支計算書	22
収支計算書（資金ベース）	23



## I-I. 令和7年度事業報告書

### 1. 事業概況（令和7年度を振り返って）

当協会は、我が国科学技術の振興と産業経済の発展に貢献するため、令和7年度においても引き続き、発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度普及等の公益事業を着実に推進した。

発明奨励振興事業では、全国発明表彰において恩賜発明賞ほか各賞を贈呈するとともに、全国8ブロックにおいて地方発明表彰を実施した。青少年創造性開発育成事業においては、企業等からの協賛を得て、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、全国少女チャレンジ創造コンテスト、少年少女発明クラブ事業等を実施した。

また、7年ぶりとなる全国発明振興会議を徳島市において開催した。

以下、令和7年度の事業について報告する。

### 2. 総 裁 常陸宮殿下

### 3. 役 員 構 成 （令和8年3月31日現在）

会 長	1名	
副 会 長	6名	（うち1名代表理事）
専 務 理 事	1名	
常 務 理 事	2名	
理 事	36名	（うち3名業務執行理事）
監 査 役	2名	
特別顧問	3名	
顧 問	1名	
参 与	1名	
幹 事	111名	

### 4. 会 員 数 （令和8年3月31日現在）

337社・名

## 5. 会 議 等

### (1) 定時総会

日 時 令和 7 年 6 月 24 日 13 : 15 ~ 14 : 00  
場 所 霞山会館「霞山の間」  
議 題 <決議事項>  
第 1 号議案 令和 6 年度事業報告及び決算承認の件  
第 2 号議案 定款変更の件  
第 3 号議案 常勤理事の報酬等に関する規程変更の件  
第 4 号議案 役員選任の件  
<報告事項>  
令和 7 年度事業計画及び同収支予算報告の件

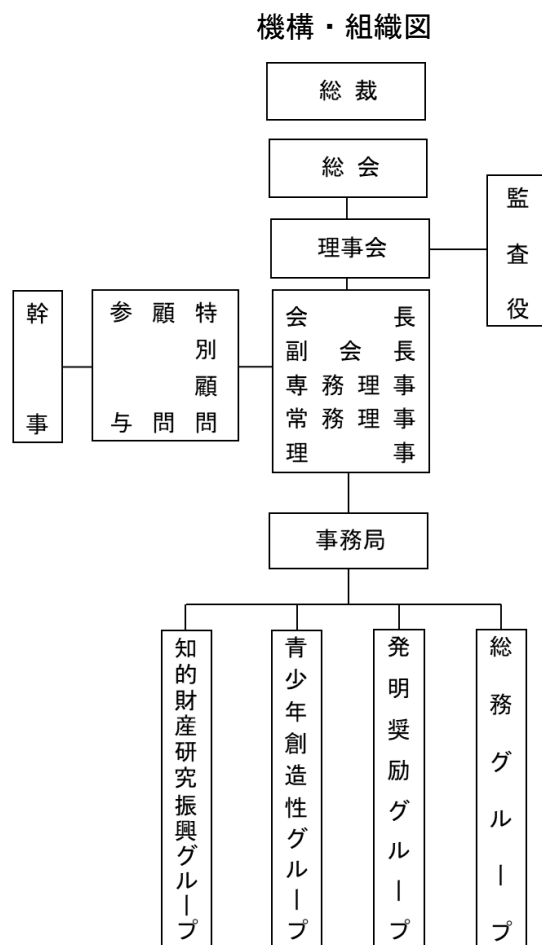
### (2) 理事会

- ①日 時 令和 7 年 5 月 23 日 12 : 30 ~ 13 : 25  
場 所 霞山会館「霞山の間」及び Web 会議システムの併用により開催  
議 案 (1) 令和 6 年度事業報告及び決算 (案) について  
(2) 定款変更 (案) について  
(3) 常勤理事の報酬等に関する規程の変更 (案) について  
(4) 理事会運営規程の変更 (案) について  
(5) 役員選任 (案) について  
(6) 定時総会の招集 (案) について  
(7) 幹事の推薦について  
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況  
(2) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛について  
(3) その他
- ②日 時 令和 7 年 6 月 24 日 14 : 10 ~ 14 : 25  
場 所 霞山会館「霞山の間」及び Web 会議システムの併用により開催  
議 案 (1) 会長、副会長、専務理事、常務理事、業務執行理事及び代表理事の選定  
について  
(2) 特別顧問の推薦について
- ③日 時 令和 8 年 3 月 17 日 12 : 30 ~ 12 : 50  
場 所 霞山会館「霞山の間」及び Web 会議システムの併用により開催  
議 案 令和 8 年度事業計画・同収支予算 (案) について  
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況の報告  
(2) その他

## 6. 登 記 事 項

役員変更登記 令和 7 年 8 月 7 日

## 7. 組織及び職員数（令和8年3月31日現在）



職員数 20名

## 8. 公益法人の運営体制の充実を図るための取組

### (1) 外部理事及び外部監査役の選任

事業運営の適正性及び透明性を確保するとともに、専門的知見に基づく助言を得ることを目的として、令和7年6月24日開催の定時総会において次の外部理事及び外部監査役を選任した。

外部理事：小川 明子（金城学院大学 生活環境学部生活マネジメント学科 教授）

知的財産教育についての専門的知見を有する外部有識者

外部監査役：登坂 秀明（登坂公認会計士事務所 公認会計士）

公益法人会計についての専門的知見を有する外部有識者

### (2) コンプライアンス委員会の実施等

令和8年2月25日にコンプライアンス委員会を開催し、内部通報規則の改正案等について審議を行った。また、役職員を対象に情報セキュリティ研修を実施し、コンプライアンスの遵守及び情報管理体制の強化に努めた。

## 9. 令和7年度における公益目的事業の実施状況

### (1) 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈

皇室より御下賜金を拝受し、令和7年度全国発明表彰において、独創性に富む極めて優れた発明により我が国科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した発明者に恩賜発明賞を贈り、その栄誉を讃えた。また、第84回全日本学生児童発明くふう展において、最も優秀な作品を恩賜記念賞に選定した。

○恩賜発明賞 「ニッケルを用いた電極長寿命化技術の発明」

船川 明恭 旭化成株式会社

蜂谷 敏徳 旭化成株式会社

○恩賜記念賞 「ニホンウナギの光による誘導システム」

嘉手納 杏果 私立明治大学付属八王子高等学校 1年

### (2) 発明奨励振興事業

#### ア. 全国発明表彰

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関（WIPO）、  
日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、朝日新聞社

令和7年度は、地域の発明協会、関係団体等からの推薦により専門部会を経て、令和7年4月に選考委員会を開催し、第1表彰区分において恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞、第2表彰区分において未来創造発明賞を選考した。

表彰式は、令和7年7月1日、オークラ東京において、正仁親王妃華子殿下御臨席の下、橋内閣官房副長官、野中文部科学副大臣、竹内経済産業大臣政務官、河西特許庁長官をはじめとする来賓の参列を得て挙行之、恩賜発明賞、未来創造発明賞並びに内閣総理大臣賞以下の各賞、恩賜発明賞受賞者に畠山一清賞、特別賞・未来創造発明賞受賞者に発明奨励金を贈呈した。

#### ○第1表彰区分

恩賜発明賞	1件 2名	特別賞	10件 25名
-------	-------	-----	---------

発明賞	10件 32名	発明実施功績賞※1	11件 13名
-----	---------	-----------	---------

#### ○第2表彰区分

未来創造発明賞	1件 2名	未来創造発明奨励賞	該当なし
---------	-------	-----------	------

未来創造発明貢献賞※2	1件 1名		
-------------	-------	--	--

○発明奨励功労賞 10名

※1 恩賜発明賞、特別賞を受賞する法人の代表者に贈呈

※2 未来創造発明賞を受賞する法人の代表者に贈呈

## イ. 地方発明表彰

- 主催 発明協会  
共催 46道府県発明協会  
後援 文部科学省、特許庁、中小企業庁、各経済産業局、北海道、秋田県、茨城県、富山県、和歌山県、山口県、愛媛県、鹿児島県、日本弁理士会、一般財団法人工業所有権電子情報化センター

令和7年度は、令和7年7月に開催した中央選考委員会及び8月に開催した地方選考委員会（8ブロック）において各賞を選考した。

表彰式は、10月下旬から11月下旬にかけて以下のとおり挙行し、計444件、1,267名を表彰した。

・北海道地方発明表彰式	10月29日	北海道函館市
・東北地方発明表彰式	11月14日	秋田県秋田市
・関東地方発明表彰式	11月20日	茨城県水戸市
・中部地方発明表彰式	11月19日	富山県富山市
・近畿地方発明表彰式	11月13日	和歌山県和歌山市
・中国地方発明表彰式	11月6日	山口県山口市
・四国地方発明表彰式	11月27日	愛媛県松山市
・九州地方発明表彰式	11月11日	鹿児島県鹿児島市

## ウ. 「戦後日本のイノベーション100選」特設サイトの運営

戦後日本で成長を遂げ、我が国産業経済の発展に貢献したイノベーションを紹介する特設サイトの運営を行った。

## (3) 青少年創造性開発育成事業

### ア. 第84回全日本学生児童発明くふう展

- 主催 発明協会  
後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関（WIPO）、日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国工業高等学校長協会

令和7年度は、各地域で開催された発明くふう展等において優秀な成績を収めた作品のうち地域の発明協会より推薦された作品を中心に733点の応募があった。これらの作品について、令和8年1月8日に審査幹事会、同月23日に審査委員会を開催し、恩賜記念賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を決定した。

令和8年3月26日には、科学技術館において、正仁親王妃華子殿下御臨席の下、小林文部科学副大臣、井野経済産業副大臣をはじめ来賓多数の参列を得て作品御覧が行われ、その後表彰式を挙行した。

翌27日から29日には、同館イベントホールにおいて展覧会を開催（「第48回未来の科学の夢絵画展」と同時開催）した。

・第 84 回全日本学生児童発明くふう展入賞作品

○恩賜記念賞 1 点 ○特別賞 13 点 ○奨励賞 20 点 ○入選 123 点

#### イ. 第 48 回未来の科学の夢絵画展

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、  
朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、  
日本美術教育連合、美育文化協会

令和 7 年度は、全国の小・中学校、幼稚園・保育園及び外国人学校の児童生徒から応募のあった 7,378 点の作品について令和 8 年 2 月 6 日に開催した審査委員会において文部科学大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

令和 8 年 3 月 26 日には、科学技術館サイエンスホールにおいて、文部科学省の杉山振興企画課奨励室長、特許庁の亀井総務部総務課長をはじめ来賓多数の参列を得て表彰式を挙行した。

翌 27 日から 29 日には、同館イベントホールにおいて展覧会を開催（「第 84 回全日本学生児童発明くふう展」と同時開催）した。

・「小学校・中学校の部」

○特別賞 11 点 ○優秀賞 49 点 ○奨励賞 82 点

・「幼稚園・保育園の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 43 点

・「外国人学校の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 10 点

#### ウ. 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館

本絵画展の受賞作品と各国の公益機関等から推薦を受けた青少年の絵画作品をネット美術館（Web サイト）に掲載し、広く一般に本事業の成果を発信した。

#### エ. 少年少女発明クラブ事業

##### ①少年少女発明クラブ

次代を担う青少年の創造性を育成するため、全国各地域の少年少女発明クラブにおいて活動を行った。なお、令和 7 年度は 2 クラブが新規に活動を開始した。

・少年少女発明クラブ設置数：211 クラブ（令和 8 年 3 月 31 日現在）

・クラブ員数：約 9,300 名

・指導員数：約 2,700 名

## ②少年少女発明クラブ全国会議

クラブの活動方法等について研究討議を行うとともに、運営等についての情報交換を図るため、第 88 回全国会議を東京都で開催した。

- ・開催日：令和 7 年 9 月 19 日
- ・会場：ビジョンセンター虎ノ門
- ・出席者：全国各少年少女発明クラブ会長、指導員、地域の発明協会担当者等 109 名

## ③少年少女発明クラブ指導員表彰

クラブにおける指導に多年従事し、青少年の創造性開発育成に関し特に功績のあった指導員 46 名（26 クラブ）に対し、感謝状を贈呈した。

## ④少年少女発明クラブ指導員研修会

クラブ指導員の資質の向上と情報交換を目的とした都道府県別研修会（12 か所）及びブロック研修会（4 か所）を開催した。

## ⑤少年少女発明クラブニュースの発行

クラブにおける創意工夫活動の成果、各種イベントの告知・報告等を掲載した「少年少女発明クラブニュース」を隔月（計 6 回）で発行し、全国のクラブ、地域の発明協会、地方自治体、科学館等を通じて広く一般に配布した。

## ⑥「はつめいキッズ」ホームページの運営

青少年の創造性開発育成活動の成果普及を図ることを目的に、本クラブ事業全般を紹介するホームページ「はつめいキッズ」を運営した。

\*本事業の①、②、⑤については、競輪の補助を受けて実施した。

## オ. 第 13 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

主催 発明協会

共催 愛知県

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、  
全国連合小学校長会、全日本中学校長会、中日新聞・中日こどもウイークリー

特別協賛 株式会社荏原製作所

令和 7 年 9 月 26 日に開催したコンテスト委員会において、地区大会（48 地区）に参加した 254 チームから全国大会に出場する 40 チームを選考した。

全国大会は、令和 7 年 12 月 13 日に Aichi Sky Expo 展示ホール E において開催し、全チームの競技終了後、文部科学大臣賞、特許庁長官賞の特別賞ほか各賞を選考した。その後、愛知県の大村知事をはじめ来賓多数の参列を得て表彰式を挙行了。

\*本事業は、競輪の補助を受けて実施した。

## カ. 東京都児童生徒発明くふう展

東京都からの委託事業として、第 68 回東京都児童生徒発明くふう展を開催した。展覧

会は港区立みなと科学館において令和 7 年 12 月 3 日～6 日にかけて開催し、特別賞 12 点、優秀賞 22 点、入選 56 点の計 90 点を展示した。また、最終日の 6 日には同科学館プラネタリウムホールにおいて表彰式を開催した。

#### キ. 青少年創造性開発育成海外交流

主催：発明協会

後援：世界知的所有権機関(WIPO)日本事務所、一般社団法人大阪発明協会

世界各国の青少年が創作した発明作品の展示・コンテスト等を通じて、創造性と国際感覚を養うことを目的とした「世界青少年発明工夫展 2025」を令和 7 年 8 月 6 日・7 日に日本国際博覧会（大阪・関西万博）の一角で開催した。日本からは第 83 回全日本学生児童発明くふう展、第 47 回未来の科学の夢絵画展及び第 12 回全国少年少女チャレンジ創造コンテストにおいて優秀な成績を収めた青少年 21 名（17 作品）並びに当協会役職員 6 名の計 27 名からなる「日本代表団」が参加した。

同展には 13 ヶ国・地域から約 300 名の生徒等が参加し計 150 作品が出品され、2 日間の来場者数は 12,000 名を超えた。

・日本代表団受賞結果

○金賞 2 点      ○銀賞 2 点      ○銅賞 5 点      ○特別賞 9 点

\*本事業は、競輪の補助を受けて実施した。

#### ク. 発明の日及び科学技術週間協賛事業

発明の日（4 月 18 日）及び科学技術週間協賛事業として、地域の発明協会及び全国の少年少女発明クラブにおいて公開発明教室、発明クラブ作品展等を行い、多数の参加を得てモノづくりへの興味・関心を高めた。

#### ケ. 青少年創造性開発育成委員会

青少年創造性開発育成事業の拡充・強化等について審議を行うため、「第 45 回青少年創造性開発育成委員会」を令和 8 年 3 月 10 日に開催した。

#### コ. 青少年創造性開発育成事業へのご協賛

当協会が行う青少年創造性開発育成事業について、広く産業界等からの事業協賛を募り同事業の更なる充実を図った。

令和 7 年度においては、以下の協賛を得た。

- ・ゴールドスポンサー 12 社・団体
- ・シルバースポンサー 15 社
- ・ブロンズスポンサー 26 社

#### (4) 知的財産権制度普及等事業

国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）の活動に企画委員として参画した。また、IIPPF 会員企業等の協力を得て、真正品、模倣品・海賊版等の展示を以下の各イベントにおいて実施し、知的財産保護の意識向上を図った。

「ホンモノ？ニセモノ？君はわかるかな？」の展示説明

・令和 8 年 3 月 27 日～29 日

「第 84 回全日本学生児童発明くふう展」「第 48 回未来の科学の夢絵画展」展覧会

「真正品、模倣品・海賊版」の展示説明

・令和 7 年 8 月 1 日

中央区（東京都）主催 「出張！ I P カルチャー教室」

・令和 7 年 9 月 13 日

中央区（東京都）主催 「中央区児童生徒発明くふう展」

#### (5) 地域機関との相互連携

##### ア. 全国発明振興会議

令和 8 年 2 月 3 日、徳島市の JR ホテルクレメント徳島において「第 63 回全国発明振興会議」を開催した。7 年ぶりの開催となる本会議には、特許庁、四国経済産業局等の行政機関、全国各道府県の発明協会や自治体関係者、教育機関など計 113 名（うち、15 名はオンライン）が参加し、知的財産を通じた地域振興、次代を担う青少年の創造性育成等について情報共有を行った。

##### イ. 発明協会会長等懇談会

全国で開催される地方発明表彰式に併せ、令和 7 年 10 月下旬から 11 月下旬にかけて地域協会会長等との懇談会を開催し意見交換を行った。

懇談会は、関東地方を除く以下の 7 地方で開催した。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ・北海道地方（函館市） | 10 月 29 日 |
| ・東北地方（秋田市）  | 11 月 14 日 |
| ・中部地方（富山市）  | 11 月 19 日 |
| ・近畿地方（和歌山市） | 11 月 13 日 |
| ・中国地方（山口市）  | 11 月 6 日  |
| ・四国地方（松山市）  | 11 月 27 日 |
| ・九州地方（鹿児島市） | 11 月 11 日 |

#### 10. 関係省庁への協力

##### (1) 文部科学省表彰関係事業への協力

科学技術の振興と発明の普及に寄与するため、叙勲、褒章及び文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門、技術部門等）の表彰対象者の調査・推薦を行った。

## (2) 特許庁知財功労賞等への協力

経済産業省・特許庁による「知的財産権制度関係功労者表彰」、「知的財産権制度活用優良企業等表彰」の候補者・候補企業及び農林水産省による「農林水産・食品分野における知的財産権制度活用優良企業等表彰」の候補企業の調査・推薦を行った。

## 11. 東京発明推進協議会の活動

令和8年1月13日に霞山会館において新年賀詞交歓会を開催し、会員、来賓等との交流を図った。

## 12. 公益事業の広報活動

当協会機関紙「月報はつめい」を会員に配布するとともにホームページにおいて広報活動に努めた。

## I－II. 事業報告書の附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和8年5月  
公益社団法人 発明協会



# 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金及び預金	27,382,211	50,101,848	△ 22,719,637
未収入金	38,303,206	41,167,672	△ 2,864,466
預け金	2,937,983	1,603,834	1,334,149
前払費用	186,630	86,730	99,900
流動資産合計	68,810,030	92,960,084	△ 24,150,054
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	25,770,833	18,495,833	7,275,000
特定資産合計	25,770,833	18,495,833	7,275,000
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	25,770,833	18,495,833	7,275,000
資産合計	94,580,863	111,455,917	△ 16,875,054
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
買掛金	17,149,483	16,480,653	668,830
未払金	34,775,600	54,274,197	△ 19,498,597
前受金	10,170,000	13,570,000	△ 3,400,000
預り金	928,981	593,876	335,105
流動負債合計	63,024,064	84,918,726	△ 21,894,662
2. 固定負債			
退職給付引当金	25,770,833	18,495,833	7,275,000
固定負債合計	25,770,833	18,495,833	7,275,000
負債合計	88,794,897	103,414,559	△ 14,619,662
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	5,785,966	8,041,358	△ 2,255,392
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	5,785,966	8,041,358	△ 2,255,392
負債及び正味財産合計	94,580,863	111,455,917	△ 16,875,054

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0
(2) 受取会費	27,670,000	28,490,000	△ 820,000
(3) 事業収益	3,075,836	2,941,636	134,200
① 発明奨励振興事業収益	(3,075,836)	(2,941,636)	(134,200)
(4) 受取補助金等	50,553,651	22,625,219	27,928,432
① JKA補助金	(50,553,651)	(22,625,219)	(27,928,432)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	331,647,089	256,007,273	75,639,816
① 資金寄附収益	(233,560,000)	(186,360,000)	(47,200,000)
② 協賛金収益	(70,909,089)	(42,727,273)	(28,181,816)
③ 資金寄附振替額	(27,178,000)	(26,920,000)	(258,000)
(6) 雑収益	280,230	269,419	10,811
① 雑収益	(230,342)	(258,432)	(△ 28,090)
② 受取利息	(49,888)	(10,987)	(38,901)
経常収益計	413,276,806	310,383,547	102,893,259
2. 経常費用			
(1) 事業費	357,051,150	266,711,748	90,339,402
① 発明奨励振興事業費	(249,499,922)	(159,737,896)	(89,762,026)
② 事業人件費	(89,460,469)	(91,903,520)	(△ 2,443,051)
③ 事業事務費	(18,090,759)	(15,070,332)	(3,020,427)
(2) 管理費	58,481,048	58,987,160	△ 506,112
① 人件費	(10,149,174)	(12,721,475)	(△ 2,572,301)
② 事務費	(48,331,874)	(46,265,685)	(2,066,189)
経常費用計	415,532,198	325,698,908	89,833,290
当期経常増減額	△ 2,255,392	△ 15,315,361	13,059,969
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,255,392	△ 15,315,361	13,059,969
一般正味財産期首残高	8,041,358	23,356,719	△ 15,315,361
一般正味財産期末残高	5,785,966	8,041,358	△ 2,255,392
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受取寄附金	27,178,000	26,920,000	258,000
① 資金寄附	(27,178,000)	(26,920,000)	(258,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 27,178,000	△ 26,920,000	△ 258,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,785,966	8,041,358	△ 2,255,392

正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1 発明奨励等	小計			
I 一般正味財産増減の部					
[1]経常増減の部					
1. 経常収益					
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0		50,000
(2) 受取会費	13,835,000	13,835,000	13,835,000		27,670,000
(3) 事業収益	3,075,836	3,075,836	0		3,075,836
① 発明奨励振興事業収益	(3,075,836)	(3,075,836)	(0)		(3,075,836)
(4) 受取補助金等	50,553,651	50,553,651	0		50,553,651
① JKA補助金	(50,553,651)	(50,553,651)	(0)		(50,553,651)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	289,536,663	289,536,663	42,110,426		331,647,089
① 資金寄附収益	(191,449,574)	(191,449,574)	(42,110,426)		(233,560,000)
② 協賛金収益	(70,909,089)	(70,909,089)	(0)		(70,909,089)
③ 資金寄附振替額	(27,178,000)	(27,178,000)	(0)		(27,178,000)
(6) 雑収益	0	0	280,230		280,230
① 雑収益	(0)	(0)	(230,342)		(230,342)
② 受取利息	(0)	(0)	(49,888)		(49,888)
経常収益計	357,051,150	357,051,150	56,225,656		413,276,806
2. 経常費用					
(1) 事業費	357,051,150	357,051,150	0		357,051,150
① 発明奨励振興事業費	(249,499,922)	(249,499,922)	(0)		(249,499,922)
② 事業人件費	(89,460,469)	(89,460,469)	(0)		(89,460,469)
③ 事業事務費	(18,090,759)	(18,090,759)	(0)		(18,090,759)
(2) 管理費	0	0	58,481,048		58,481,048
① 人件費	(0)	(0)	(10,149,174)		(10,149,174)
② 事務費	(0)	(0)	(48,331,874)		(48,331,874)
経常費用計	357,051,150	357,051,150	58,481,048		415,532,198
当期経常増減額	0	0	△ 2,255,392		△ 2,255,392
[2]経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	△ 2,255,392		△ 2,255,392
他会計振替額	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 2,255,392		△ 2,255,392
一般正味財産期首残高	0	0	8,041,358		8,041,358
一般正味財産期末残高	0	0	5,785,966		5,785,966
II 指定正味財産増減の部					
(1) 受取寄附金	27,178,000	27,178,000	0		27,178,000
① 資金寄附	(27,178,000)	(27,178,000)	(0)		(27,178,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 27,178,000	△ 27,178,000	0		△ 27,178,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	0	0	5,785,966		5,785,966

## 財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金: 役員退職手当金については、役員の退職手当金支給に備えるため、規則に基づく期末要支給額を計上

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	18,495,833	7,275,000	0	25,770,833
合 計	18,495,833	7,275,000	0	25,770,833

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
退職給付引当資産	25,770,833	( — )	( — )	( 25,770,833 )
合 計	25,770,833	( — )	( — )	( 25,770,833 )

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
2025年度 機械振興補助事業	公益財団法人JKA	0	50,553,651	50,553,651	0	—
合 計		0	50,553,651	50,553,651	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
資金寄附振替額	27,178,000
合 計	27,178,000

## 附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	18,495,833	7,275,000	0	0	25,770,833

## 財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	287,950
預金	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	10,874,929
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	4,782,187
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	6,509,347
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	1,002,975
	普通預金(りそな銀行東京営業部)	運転資金として	69,843
	振替貯金(ゆうちょ銀行本店)	運転資金として	3,854,980
未収入金	公益財団法人 JKA他	公益目的事業に係る補助金他	38,303,206
預け金	小樽少年少女発明クラブ他	公益目的事業に係る運営事業費他	2,937,983
前払費用	役員に対するもの	通勤手当	186,630
流動資産合計			68,810,030
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	退職給付引当金見合の引当資産	25,770,833
特定資産合計			25,770,833
その他固定資産			
その他固定資産合計			0
固定資産合計			25,770,833
資産合計			94,580,863
(流動負債)			
買掛金	株式会社発明会館他	公益目的事業及び管理業務に係る発送料他	17,149,483
未払金	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業及び管理業務に係る立替人件費他	34,775,600
前受金	会員	公益目的事業及び管理業務に係る会費	10,170,000
預り金	芝税務署他	公益目的事業及び管理業務に係る所得税他	928,981
流動負債合計			63,024,064
(固定負債)			
退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えるもの	25,770,833
固定負債合計			25,770,833
負債合計			88,794,897
正味財産			5,785,966



収 支 計 算 書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
[1] 経常増減の部				
1. 経常収益				
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0	
(2) 受取会費	28,000,000	27,670,000	330,000	
(3) 事業収益	3,063,000	3,075,836	△ 12,836	
① 発明奨励振興事業収益	(3,063,000)	(3,075,836)	(△ 12,836)	
(4) 受取補助金等	58,191,000	50,553,651	7,637,349	
① JKA補助金	(58,191,000)	(50,553,651)	(7,637,349)	
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	335,000,000	331,647,089	3,352,911	
① 資金寄附収益	(237,000,000)	(233,560,000)	(3,440,000)	
② 協賛金収益	(77,000,000)	(70,909,089)	(6,090,911)	
③ 資金寄附振替額	(21,000,000)	(27,178,000)	(△ 6,178,000)	
(6) 雑収益	91,000	280,230	△ 189,230	
① 雑収益	(91,000)	(230,342)	(△ 139,342)	
② 受取利息	(0)	(49,888)	(△ 49,888)	
経常収益計	424,395,000	413,276,806	11,118,194	
2. 経常費用				
(1) 事業費	379,712,000	357,051,150	22,660,850	
① 発明奨励振興事業費	(271,587,000)	(249,499,922)	(22,087,078)	
② 事業人件費	(90,896,000)	(89,460,469)	(1,435,531)	
③ 事業事務費	(17,229,000)	(18,090,759)	(△ 861,759)	
(2) 管理費	46,965,000	58,481,048	△ 11,516,048	
① 人件費	(6,566,000)	(10,149,174)	(△ 3,583,174)	
② 事務費	(40,399,000)	(48,331,874)	(△ 7,932,874)	
経常費用計	426,677,000	415,532,198	11,144,802	
当期経常増減額	△ 2,282,000	△ 2,255,392	△ 26,608	
[2] 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 2,282,000	△ 2,255,392	△ 26,608	
一般正味財産期首残高	10,895,000	8,041,358	2,853,642	
一般正味財産期末残高	8,613,000	5,785,966	2,827,034	
II 指定正味財産増減の部				
(1) 受取寄附金	21,000,000	27,178,000	△ 6,178,000	
① 資金寄附	(21,000,000)	(27,178,000)	(△ 6,178,000)	
(2) 一般正味財産への振替額	△ 21,000,000	△ 27,178,000	6,178,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	8,613,000	5,785,966	2,827,034	

(説明資料)

収 支 計 算 書 (資金ベース)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

No.	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
	I 事業活動収支の部				
	1. 事業活動収入				
1	(1) 御下賜金	50,000	50,000	0	
2	(2) 会費収入	28,000,000	27,670,000	330,000	
3	(3) 事業収入	3,063,000	3,075,836	△ 12,836	
4	① 発明奨励振興事業収入	(3,063,000)	(3,075,836)	(△ 12,836)	
5	(4) 補助金等収入	58,191,000	50,553,651	7,637,349	
6	① JKA補助金収入	(58,191,000)	(50,553,651)	(7,637,349)	
7	(5) 寄附金・協賛金収入	335,000,000	331,647,089	3,352,911	
8	① 資金寄附収入	(258,000,000)	(260,738,000)	(△ 2,738,000)	
9	② 協賛金収入	(77,000,000)	(70,909,089)	(6,090,911)	
10	(6) 雑収入	91,000	280,230	△ 189,230	
11	① 雑収入	(91,000)	(230,342)	(△ 139,342)	
12	② 受取利息	(0)	(49,888)	(△ 49,888)	
13	事業活動収入計	424,395,000	413,276,806	11,118,194	
	2. 事業活動支出				
14	(1) 事業費支出	375,896,000	351,631,275	24,264,725	
15	① 発明奨励振興事業支出	(271,587,000)	(249,499,922)	(22,087,078)	
16	② 事業人件費	(90,896,000)	(89,460,469)	(1,435,531)	
17	③ 事業事務費	(13,413,000)	(12,670,884)	(742,116)	
18	(2) 管理費支出	45,956,000	56,625,923	△ 10,669,923	
19	① 人件費	(6,566,000)	(10,149,174)	(△ 3,583,174)	
20	② 事務費	(39,390,000)	(46,476,749)	(△ 7,086,749)	
21	事業活動支出計	421,852,000	408,257,198	13,594,802	
22	事業活動収支差額	2,543,000	5,019,608	△ 2,476,608	
	II 投資活動収支の部				
	1. 投資活動収入				
23	(1) 特定資産取崩収入	0	0	0	
24	投資活動収入計	0	0	0	
	2. 投資活動支出				
25	(1) 特定資産支出	4,825,000	7,275,000	△ 2,450,000	
26	投資活動支出計	4,825,000	7,275,000	△ 2,450,000	
27	投資活動収支差額	△ 4,825,000	△ 7,275,000	2,450,000	
28	当期収支差額	△ 2,282,000	△ 2,255,392	△ 26,608	
29	前期繰越収支差額	10,895,000	8,041,358	2,853,642	
30	次期繰越収支差額	8,613,000	5,785,966	2,827,034	

以上の通り相違ありません。

令和8年5月13日

公益社団法人 発 明 協 会

会 長 東 原 敏 昭

令和7年度事業報告書及び財務諸表について監査した結果、いずれも適正かつ  
適法であることを認めます。

令和8年5月13日

監査役 石 井 宏 治

監査役 登 坂 秀 明